

教育者養成の在り方を持続的に探究する大学へ

「令和の日本型学校教育」を担う教師の能力を身に付けるため、「子供と教師が共に新たな社会を創造していく学校教育の実現」をテーマに、先導的プログラムを開発し、成果の展開、教職課程に関する制度改善への提言を行う機能を先端教育人材育成推進機構を核として構築し、**持続的に教育者養成の在り方を探究する。**

令和の日本型学校教育を担う教師に求められる能力と先導的プログラム

変化が激しく予測困難な時代へ対応できる力と新たな価値を創造することができる力を子供に育成することができる教師

子供に身に付けさせる能力

- 「探究力、創造力、他者・社会と協働できる力」を育成する力
- ①教科横断学習（STEAM含む）実践力
- ②アクティブラーニング実践力
- ③子供が置かれている多様な環境への対応力

学校や社会をより良く変革することに自律的・主体的に取り組むことができる力を有する教師

教師自身が身に付ける能力

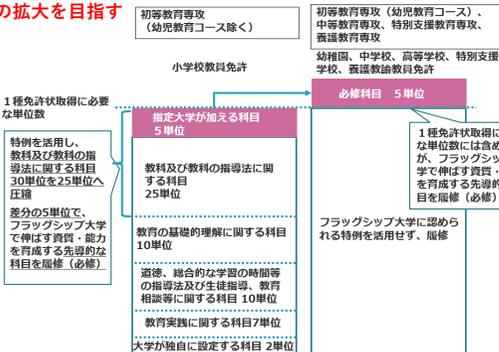
- ④学び続けるために、自己をマネジメントする力
- ⑤学校教育のより良い変革に資する基盤となる探究力、創造力
- ⑥学校内での協働・社会との協働をマネジメントする力

フラッグシップ特例科目（必修5単位）

- 「社会に開かれた探究と創造の学びのデザイン」
- 「学びを支えるファシリテーションの技法」
- ③「チーム学校と多職種協働」
- ④「教師のレジリエンスと自己管理能力の育成」
- ⑤「教育のためのデータサイエンス」

フラッグシップ特例の活用（令和5年度）

令和5年度から小学校免許を取得する専攻に活用、令和7年度から幼稚園、中学校、高校、特別支援学校免許を取得する専攻への拡大を目指す

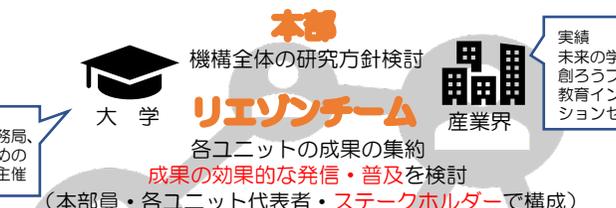


先端教育人材育成推進機構を核として、政策提言を行うフラッグシップ大学の体制を整備

先導的プログラムの研究開発と成果の展開・検証を可能とする循環システムを構築

先端教育人材育成推進機構

機構長は副学長から学長が指名し、学長のリーダーシップとガバナンスを発揮  
学内教員、附属学校教員、外部機関（他大学・教委等）から約70名参加



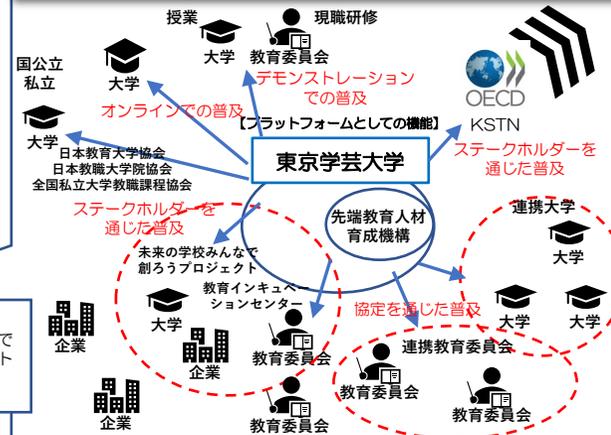
その時の現代的教育課題に対応して、ユニットを柔軟に改廃

- 教職専門性基準開発エント（特例活用・先導プログラム開発）
  - 教育・学習デザイン開発エント
  - 外国人児童生徒教育推進エント
  - 高校教育開発推進エント
  - テーマ駆動型教育創成エント
  - 教師教育高度化エント
  - 教員研修プラットフォーム開発エント
  - 次世代組織マネジメント研究開発エント
- 各ユニットへもステークホルダーが参加

課題把握・研究実施段階からステークホルダー（他大学・教育委員会・民間等）が参加することで、成果の活用・普及を見据えて実施（循環システム）

- 実績 日本における次世代対応型教育モデルの研究開発（H27～）
- 実績 外国語（英語）コアカリキュラム（H29）
- 実績 教員の養成・採用・研修の一体的改革推進事業（H29～R1）

全国的な教員養成ネットワークの構築と成果の展開イメージ



取組の検証を踏まえた教職課程に関する制度の改善への貢献

教員養成制度の変革に関する提言

- ◆教職課程コアカリキュラムの改訂への提言
- ◆教育職員免許法や課程認定基準の改訂への提言 等

